

佐世保市学校給食会は、教育委員会（学校・学校給食センター）と連携して地産地消を推進していますが、青果物については会議を設置しており、今般その会議を開催しました。

開催日時 平成 30 年 6 月 26 日（火）

場 所 佐世保市学校給食青果物納入事業協

構 成 ながさき西海農業協、佐世保青果協

佐世保市学校給食納入事業協

市教育委員会(コーディネーター)、

市農林水産部(アドバイザー)

主 催 者 学校給食会

議 題 地産地消の推進について

本協議会の目的は青果物の地産地消の推進ですが、具体的な項目として、「献立に地場産品を取り入れること」と「佐世保青果市場にできるだけ多くの地場産品の入荷を図ること」を定めており、「情報共有」と「関係者の協力」を本協議会の目標としています。

今回も活発な意見交換が行われ、本会から平成 29 年度における地元産の使用率等については、市内産キャベツの使用などによって前年度よりも約 2%向上したとの報告を行いました。

また佐世保青果協から、松浦産万次郎南瓜及び市内産えびす南瓜の生産状況等に関する情報提供があり、それぞれ給食に使用できないか今後検討を行っていくことが確認されました。

その他、すでに市内で生産している大根や白菜等についても給食用として量産化できないかなどの意見交換が行われました。

会議の様子

